

## 近畿地区

## 「HIV 感染から青少年を守ろう！ 私たちの行動で」

福井県臨床検査技師会は、HIV/エイズ及び性感染症の予防啓発活動を継続的に取り組んでおり、平成 19 年より性教育チームが福井県教育庁の『性に関する教育』普及推進事業「子育て講演会」に参加している。

これまでに県内の小・中学校と高等学校(計 19 校)の児童・生徒・教職員・保護者(総人数は約 1,000 人)を対象に、“命の誕生のすばらしさ”と“エイズ・性感染症の知識と検査について”をテーマに、ゲストティーチャーとして授業や講演を行った。



本年度は、福井健康福祉センター(保健所)が実施した HIV 迅速検査(6 月=HIV 検査普及推進週間、10 月=大学祭、12 月=世界エイズデー)に協力した。“世界エイズデー”にちなみ 12 月 5 日にはエイズ予防啓発街頭キャンペーンを JR 福井駅周辺で実施し、翌 6 日には 2009 年公開講座『HIV 感染から青少年を守ろう！ 私たちの行動で』(後援: 福井県、福井県医師会)を同センターで開催した。日頃から検診・指導・治療の第一線で活躍されている福井保健所長と北陸ブロック・エイズ治療拠点病院の医師に講演していただき、当技師会の性教育チームの活動も紹介した。この講演から、私たち一人ひとりが HIV 感染症について正しい知識を持つことが、HIV 感染予防や早期発見・早期治療につながることを学んだ。同時に、エイズ予防啓発の推進やハイリスクの人たちへの具体的なアプローチが課題であることも認識できた。

一方、日臨技が製作した“STOP! AIDS”キャンペーンポスターと公開講座が福井新聞紙上で紹介されるなど、新型インフルエンザ流行の渦中で、ともすると薄れがちなエイズ予防への関心が高まったように思われる。今後も、県民に臨床検査の意義と有用性、臨床検査技師の姿を知ってもらうと共に、社会人・法人としての責任を果たす為に、地域社会への参加と貢献を目指していきたい。

【伊藤善祐】

## 九州地区

## 「エイズ予防啓発活動」in 熊本

「エイズを撲滅しましょう！」と連呼し

ながら、歳末商戦が始まったばかりの 12 月 6 日、日曜日、熊本市一番の目抜き通り・下通りアーケード内で昨年を引き続きエイズ予防啓発活動を行った。

熊本県技師会の幟と AIDS 予防キャンペーン実施中の看板を立て、熊臨技オリジナルの STOP AIDS のパンフレット、熊本市保健所作成の性感染症に関する小冊子、日臨技からの救急絆・ポケットティッシュの豪華(?) 4 点セット 1,000 部を、女性部会を中心に午前の部・午後の部の 2 回に分け、総勢 18 名で配布した。暖冬と言われているにもかかわらず当日の気温は少々低めだったが、昨年技師会で作成した冬用ジャンパーと、技師会メンバーの温かい協力のもと、短時間でスムーズに配布することが出来た。

今年のアーケード内には中・高校生や若いカップルが多く、昨年に比べると若年齢層への配布が中心となった。

「これを見て勉強してね」と声を掛けると、興味深そうにパンフレットを見る若者もいて、「エイズ予防啓発活動」の効果も充分期待できそうだ。

熊本から、日本から、いや世界からエイズが撲滅されることを願いながら活動に参加した。

【中瀬順子】



## 中国地区

## エイズ公益委託事業

日臨技エイズ公益委託事業として、山口県では、県内 5 ヶ所(下関地区: 下関駅前、宇部地区: 山陽小野田市で行われた健康フェスタ会場内、山口地区: 野田学園、周南地区: 徳山駅前、周東地区: パルティフジ南岩国店)で、技師会がレッドリボンを応援しているという趣旨を書いたパンフ、エイズに関する小冊子、日臨技からいただいたティッシュ、絆創膏、そして検査技師はこんな仕事をしていますよと紹介したパンフを一組とレクリアファイルに入れて、エイズの理解を深めていただくとともに検査技師の広報を目的に、県検査技師会ののぼりを立て、お揃いの目立つジャンパーを着て、街行く市民に声をかけ、場合によってはエイズについて簡単な説明をしました。

その中、中学生、高校生に特にエイズに関心を持っていただきたいということ



とで、世界エイズデーである 12 月 1 日の朝登校時、中高一貫の野田学園校門前で、学校の許可を得て配布いたしました。

学生に無視されたらどうしようかとも思い不安でしたが、両手で受け取ってくれる生徒もいて、活動をして良かったと実感しました。また同日、徳山駅でも保健所やソロプチミストのボランティアの方と一緒に活動しました。かばんを持っている人には良かったのですが、手ぶらの方にはクリアファイルは大きかったようで、次回はもっとコンパクトになるように考えたいと思います。

健康フェスタ会場では、エイズに関する簡単なアンケートを取ってみました。検査技師の仕事内容を知っていたのは、なんとなくを含めて約 5 割。また、ほとんどの方はエイズのことは聞いたことがあるとの回答でしたが、検査を検査技師がしていると知っていたのは、40%強でした。これが多いか少ないか。この点を含め、今後も地道に人々の前にでて活動をしていけば、検査技師の知名度も上がっていくように思います。

【川元博之】

次ページへ続く...

